

市議会議員候補

とこよだ まさき



47歳



旭市に暮らしてよかったとみんなが思えるまちづくり

未来ある子ども達、がんばっている子育て世代のみなさん、
高齢者の方や障害のある方が暮らしやすい旭市にします

① 経験豊かな即戦力



とこよだまさきは日本大学を卒業後、国立岐阜大学大学院を修了しました。大学院で学んだ農業の知識と海外の農村開発に携わった経験を活かし、旭市の発展のために全力を尽くします。

地元旭市へ戻ってからは、有機農家として就農し、都内をはじめ、たくさんの飲食店の方へ野菜を直販してきました、農業を営みながら、仲間とともに様々な経験を積んできました。

- ・小中学生の職業体験や社会科見学の積極的な受け入れ
- ・都市農村交流の一環として、毎年、都内小学生を招いての田植え・稲刈り体験
- ・干潟小学区のひがたっ子応援団会長（夜祭り運営・資源ごみ回収）
- ・東日本大震災による旭市農産物への風評被害ストップ運動を都内で展開
- ・コロナ禍での『旭市中小企業者等事業継続支援金』給付につながる市への陳情活動

② いちばん身近な代弁者

コロナ禍による不景気からの早期回復と新たな収入源の確保を進めつつ、旭市に暮らす皆さんが暮らしやすいまちづくりに取り組んでいきます。日々の生活の中で皆さんが疑問や不安に思うことはたくさんあると思います。

とこよだまさきは、旭2中PTA会長を2回、主任児童委員を2期6年、干潟小学区自主防災会会長の経験を活かし皆さんの声を市役所へ陳情するだけでなく、現場に立ち、対策や解決法を自分で考えます。政策として提案することができます。取り組みたいことの一例としては、

- ・農業後継者の確保
- ・高齢者の方や障害がある方の災害時における安全確保
- ・子ども達の通学路の安全確保、スクールバスの導入
- ・ひとり親世帯のお子さんの成人までサポート
- ・学校へ行くことが出来ないお子さんのための地域スクールの設置
- ・子ども食堂の設置、ヤングケアラー、子どもの貧困と孤独の解消

などなど、書ききれませんが、とこよだまさきは、いつも身近にいるなんでも相談できる人になりたいです。